

第2回

「業務改善運動(SWITCHプロジェクト)」の実施について【2019.10～2020.9実施に係る募集要項】

市民サービスの向上や行政運営の効率化等の視点から、職員一人ひとりが、自発的に日頃の業務のやり方を見直し、組織全体で改善に取り組む風土を浸透させるため、「業務改善運動(SWITCHプロジェクト)」を継続するとともに、業務改善を行った事例を募集します。

1 募集内容等(業務改善サイクルの①、②)

■募集する事例

- ・仕事の中で自ら取り組んだ業務改善事例(取組対象期間に取り組んだもの)
※例:市民サービス向上、業務の効率化、業務の成果向上、経費の節減、事務ミス防止等



■取組対象期間

1年間

- ・2019年10月～2020年9月(1人1件以上を目標として取組みをお願いします)
※取組対象者は課長級(所属長除く)以下の全ての正規職員です。
※所属長等は職員に対して積極的な改善ができるように助言等を行ってください。



■提出方法

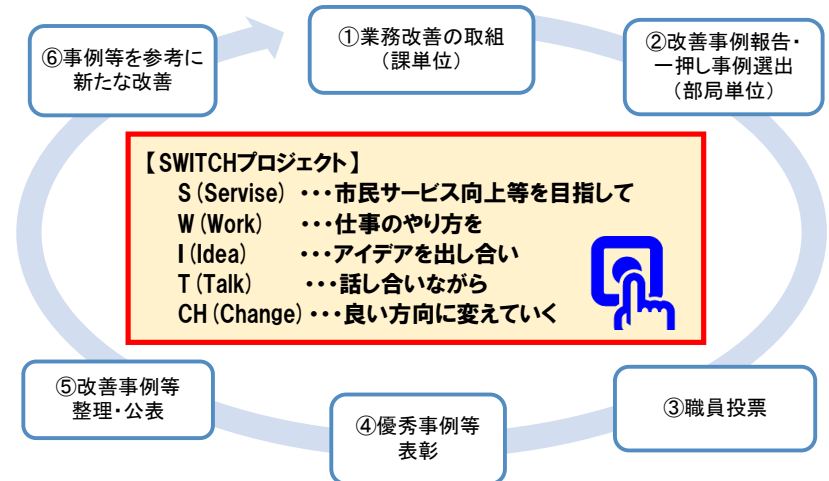
- ・各部署で入力フォームを取りまとめ、行財政改革推進局へメールで提出をお願いします。
※取組対象期間中に各部署で実施した全ての改善事例を提出してください。
※全ての改善事例のうち1件を「イチ押し事例」として選出し部署長のコメントを入力の上提出してください。

■提出の時期

- ・2020年1月31日【1回目】、5月29日【2回目】、9月30日【3回目(最終)】
※2回目、3回目の提出時は、1回目、2回目の改善事例もあわせて提出してください。



《継続した業務改善サイクル》



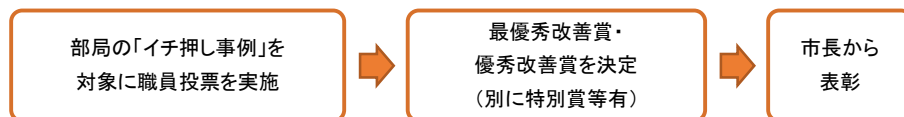
2 業務改善事例提出後の取り扱い(業務改善サイクルの③、④、⑤)

■優秀事例の選定・表彰【S-1グランプリ】

- (1)各部署が選出した「イチ押し事例」について職員投票(Webアンケート等)を実施するとともに、その結果を参考に市長が「最優秀改善賞」を、副市長が「優秀改善賞」を決定
- (2)また行財政改革推進会議(市附属機関)が選定する「推進会議会長特別賞」及び最多の改善を行った課に「最多改善賞」を設け、(2)とあわせて市長から表彰を予定

※全ての改善事例はグループウェア等で全庁共有、各部署の改善件数は部長会等で随時公表予定

【S-1グランプリ】の流れ



第1回SWITCHプロジェクトにおける部局の「イチ押し」改善事例(抜粋)



- 窓口表示等の改善【市民サービス向上】
窓口の表示と対応を「申請・交付窓口」と「相談窓口」に分け、待ち人数と順番を明確化し混雑を解消【障がい福祉課】
- 長期保存期間の決裁文書の電子化【業務の効率化】
方針決裁文書等を電子化し、エクセルで作成した一覧表と電子化したデータをリンクさせ検索を簡易化【住宅課】
- 照会回答の未提出課に対する催促自動化【事務の効率化】
催促メールの送信をRPAを活用して自動化【情報政策課】
- 評価依頼の事前調整【経費の節減】
仮の固定資産税評価額の照会[約1,000件/年]を繁忙期に偏らないよう調整し業務準化・時間外削減【資産税課】